

令和5年第2回市議会定例会

市長提案理由

(令和5年6月9日提案)

令和5年第2回市議会定例会の開会に当たり、3期目の市長就任の御挨拶を申し上げますとともに、市政諸般の報告と提出いたしました諸議案について御説明いたします。

去る4月23日の市長選挙におきまして、多くの市民の皆様の御信任をいただき、3期目の市政を担うこととなりました。

新たな任期におきましても、「全ての施策の目的は市民の幸せのためにある」ことを念頭に、引き続き、これまで以上に市民の皆様に寄り添った市政運営に臨む決意です。来年は、いよいよ市制100周年の節目の年を迎えます。次の100年に向け、すべての人が幸せを実感できる市政運営を目指してまいります。

今年4月、子どもに対する様々な課題にワンストップで取り組むため、「こども部」を新設しました。子どもを第一に考え、包括的で切れ目のない支援体制で、子どもを真ん中に据えた政策を推進し、「こどもまんなか社会」を実現します。

9月には、別府市学校給食センターがオープンします。子どもたちの健やかな成長に欠かすことのできない安全で安心な「日本一おいしい給食」を提供するため、四季折々の変化や旬が感じられる新鮮な別府市産の食材を提供することによって、別府市の学校給食に付加価値をつけ、子どもたちが自慢できる給食を目指します。学校給食への取組は、持続可能な農業振興に繋がるとして、「地域再生計画」にも認定されました。

別府観光のさらなる進化・発展を目指し、これまで進めてきた「観光DX」「食×観光」「ユニバーサルツーリズム」「免疫力日本一宣言の実現」の観光4本柱をしっかりと形にし、稼ぐ別府・儲かる別府の実現を進めてまいります。

持続可能な温泉観光地として新たな可能性を広げる「新湯治・ウェルネスツーリズム事業」を推進するため、市長公室に「新湯治・ウェルネスツーリズム推進室」を新設しました。別府の次の100年を見据え、「医療・美容・健康」に特化した新たな観光モデルを確立することができるよう、全庁的に取り組んでまいります。

その別府観光の源でもある温泉資源を持続して安定的に活用するため、温泉マネジメント計画を策定するとともに、市内の温泉の安定供給を可能とする「温泉マネジメントシステム」の構築を目指します。

地域住民の福祉の支援ニーズに包括的に対応するための重層的支援体制整備事

業実施に向けて、市民福祉部高齢者福祉課に新設した「地域福祉推進係」内の福祉の総合相談窓口において、福祉に関する複雑化・複合化した問題や、既存の制度では対応が困難な問題について、重層的に支援するとともに「断らない相談支援体制」を構築していきます。また、今後増加が見込まれる認知症の方への施策として、認知症に係る分析、予防プログラム、認知症サポート医との連携など、認知症別府モデルの確立を目指し、今年度から分析事業を始めます。

高齢者や子どもの見守り、防災対策など、地域で抱える課題の解決に向けて、地域の住民が中心となって取り組む中規模多機能自治を推進し、市民と行政との協働・連携により、地域の人財や資源を大切に持続可能なまちづくりを進めてまいります。4月には、別府競輪場内に、上人・亀川地区の「北部ひとまもり・まちまもり協議会」が事務所を開設しました。活動拠点を設け、地域コミュニティの力をより高めていけるよう、行政も一体となり取り組んでまいります。

今年度は、いよいよ新図書館の建設工事に着手します。令和7年度末の開館に向けて、市民の皆様、また子どもたちが誇りに思えるような地域の創造拠点となる新図書館の整備事業を引き続き確実に進めてまいります。

続きまして、市政諸般の御報告を申し上げます。

政府は、ゴールデンウィーク明けの5月8日から、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけを、季節性インフルエンザなどと同じ5類感染症に移行しました。

このことを受け別府市でも、新型コロナウイルス感染症対策本部は5月8日をもって廃止しました。今後の感染対策は、個人の判断を尊重し、適切に行っていただくようお願いいたします。

3月には、約3年4か月ぶりに国際クルーズ船が別府国際観光港に入港いたしました。4月26日、第23回別府アルゲリッチ音楽祭が開幕し、ゴールデンウィークには非常に多くの観光客の方にお越しいただき、コロナ禍前の賑わいを取り戻すような、本来の姿が戻ってまいりました。

5月10日には上人ヶ浜公園整備運営事業のキックオフとして、事業者から事業概要が発表されました。現状の松林等の自然豊かな景観を活かし、砂湯の充実はもとより、様々な公園施設の整備が予定されています。公園という憩いの場を多機能化・高付加価値化し、公園全体の賑わいの創出を目指してまいります。来年夏頃までの

オープンに向け、8月に着工する予定です。同じく5月10日、来年春に実施する国内最大規模の観光プロモーション「福岡・大分デスティネーションキャンペーン」に先駆け、全国宣伝販売促進会議が開催されました。

6月8日から6月11日には、「第71回全国ろうあ者大会 in おおいた」が行われます。全国各地から3,000人規模の参加者が見込まれており、この大会で、ユニバーサルツーリズムを目指す観光都市として、全国からお見えになる大会関係者をおもてなしいたします。

次に物価高騰対策です。

国において「物価高克服に向けた追加策」が決定されたことに伴い、本市においても物価高騰に直面する市民生活を支援するため、他の自治体に先駆け補正予算を編成し、議会の協力をいただき専決処分いたしました。

特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯に対し1世帯当たり3万円の特別給付金を支給します。低所得の子育て世帯に対しては、児童1人当たり一律5万円の特別給付金の支給を5月下旬から開始しました。また、生活者支援として、省エネ家電の購入補助、全世帯への指定ごみ袋の配布を行います。食材費高騰による保育所・幼稚園・小・中学校の給食費の高騰分を市が負担することにより保護者の負担軽減を図ります。事業者支援としては、エネルギー価格高騰の影響を受けている社会福祉施設の負担軽減を図るため、電力等高騰分の補助金を交付し、地域公共交通事業者に対しては、燃料費高騰分の補助金を交付します。

この3年あまり、感染予防対策と社会経済活動の両立など、様々な課題と向き合ってきました。この苦しかった3年間を乗り越えアフターコロナへ向けて、私たちの日常生活も、また別府観光も「コロナ禍前に戻る」のではなく、コロナ禍前より一層進化・発展させてこそ、本当の意味でのコロナの克服になるのだと思います。

この度、観光庁令和4年度第2次補正「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」の採択を受けました。この事業は、地域一体となった観光地の面的な再生・高付加価値化に向けて、地域で作成した計画に基づき実施される宿泊施設等の改修や廃屋の撤去等を支援するもので、ウェルネスツーリズムの推進の具現化に向け、関係団体と連携し、全国でも最大規模の地域計画を取りまとめ申請しました。今後のさらなる旅行需要の地域間競争から選ばれる観光地となるため、

地域が一体となり、観光地の再生・観光サービスの高付加価値化に向け、一步一步確実に、歩を進めてまいります。

そして、市制施行100周年を来年に控え、今年度は、機運醸成するための様々なイベントを予定しています。これまで培われてきた歴史・伝統・文化・産業、先人への功績に思いを馳せ、100周年記念のキャッチフレーズ「100年分の『ありがとう』が明日への源泉」のとおり、感謝の気持ちを源泉として、新たな別府を創造してまいります。

続きまして、ただいま上程されました各議案の主なものについて、その概要を御説明いたします。

予算関係議案から御説明申し上げます。

本年度の当初予算におきましては、義務的経費などを中心とした骨格予算を編成しておりますので、今回の補正では新規事業や建設事業などの政策的経費を追加した肉付け予算として編成いたしました。

始めに、一般会計補正予算ですが、今回補正する額は、12億5,100万円の増額で、補正後の予算額は624億1,200万円となります。

その主なものとして、総務費では、バスやタクシーの乗務員が不足し、市民の移動手段に影響を及ぼす可能性があるため、乗務員の移住定住や免許の取得を支援することにより、乗務員を確保するとともに、夜間における市民の帰宅手段確保のため、市内を巡回する「ナイトバス」を運行する経費を計上しています。

民生費では、市民や観光客など、乳幼児連れの子育て世帯が安心して外出できるよう、別府駅構内に授乳やおむつ替えなどができる個室スペースを設置するための経費を計上しています。

農林水産業費では、農産物の域内経済循環を促進するため、農業者と宿泊・飲食業者をつなぐ「食×観光」プラットフォーム構築を目指し、地元農産物を活用した新商品開発を支援するとともに、旬の地元農産物を学校給食に提供できるよう、持続可能な体制を作るための経費を計上しています。

商工費では、別府ツーリズムバレーについて、引き続き「儲かる別府」の実現に向け、起業・創業支援や人財育成を行うとともに、「ONE BEPPU DREAM AWARD」ファイナリストなどの事業実現を支援する経費を計上しています。また、個人消費の下

支えにより市内経済の活性化を図るため、県の補助金を活用しプレミアム商品券を発行する経費を計上しています。

観光費では、「エビデンスを伴った湯治」による観光客誘致を目指し、温泉効果の科学的根拠と日本最大の源泉数を掛け合わせた「新たな旅行プラン」を造成するとともに、公式観光情報ウェブサイトと戦略的に連携し、最新の情報や魅力を発信するため、観光パンフレットをリニューアルする経費を計上しています。また、アフターコロナに向けたインバウンド誘客促進の取組として、タイや台湾などをターゲットに、インバウンド誘客の多角化や、更なる関係強化を図ってまいります。

土木費では、公園の高付加価値化を図ることにより「やりたいことができる公園」を整備するため、市民を対象に実施したアンケート調査の結果を踏まえ、公園内に屋外体育施設を設置するための経費を計上しています。

教育費では、市制100周年記念イベントとして、「別府マーチング・カーニバル」を実施するための経費を計上しています。

次に特別会計では、競輪事業において、デジタル戦略の一環として、紙車券からデジタル車券へと時代の変化へ対応するため、独自の競輪投票ポータルサイトを構築するための経費を計上しています。今回の補正額は、1億7,500万円の増額で、補正後の特別会計予算の総額は620億5,300万円となります。

以上が、今議会における予算関係議案の概要です。

次に予算外の議案につきまして、御説明申し上げます。

予算外の議案につきましては、「条例関係7件」、「その他6件」の計13件を提出しています。

議第48号「別府市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について」は、新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するための作業に従事した職員の特殊勤務手当の特例を廃止することに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第49号「別府市税条例の一部改正について」は、地方税法等の一部を改正する法律により、地方税法の一部が改正されたことに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第50号「別府市税特別措置条例の一部改正について」は、地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第26条に規定する総務省令

で定める施設の要件である設置期限を延長することに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第51号「ハイパフォーマンスジム別府の設置及び管理に関する条例の一部改正について」は、ハイパフォーマンスジム別府を指定管理者に管理させること等に伴い、条例を改正しようとするものです。

議第52号「鉄輪地区駐車場の設置及び管理に関する条例の制定について」は、熱の湯前駐車場及び鉄輪温泉地区駐車場の駐車料金を定めること等に伴い、条例を制定しようとするものです。

議第53号「別府市竹細工伝統産業会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について」は、研究棟に設置している機械の種類を見直すこと等に伴い、条例を改正しようとするものです。

議第54号「別府市火災予防条例の一部改正について」は、対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部が改正され、急速充電設備について、全出力の上限の撤廃その他火災予防上必要な措置の見直しがされたことに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第55号から議第60号までの「市長専決処分について」は、地方自治法第179条第1項の規定に基づき市長において専決処分しましたので、同条第3項の規定により議会に報告し、その承認を求めるものです。

議第55号は、物価高騰の負担感が大きい低所得世帯の負担軽減を図るため、住民税非課税世帯及び低所得の子育て世帯に対し、特別給付金を支給すること等に伴い、令和5年度別府市一般会計補正予算(第2号)を専決処分したものです。

議第56号は、省エネ性能の高い家電製品の購入に対し、補助金を交付すること等に伴い、令和5年度別府市一般会計補正予算(第3号)を専決処分したものです。

議第57号は、食料品価格高騰の影響を受けている高齢者配食サービス事業者の負担軽減を図るため、食材費高騰相当額を市が負担することに伴い、令和5年度別府市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)を専決処分したものです。

議第58号、議第59号及び議第60号は、地方税法等の一部を改正する法律及び地方税法施行令の一部を改正する政令が令和5年3月31日に公布され、同年4月1

日から施行されたことに伴い、別府市税条例、別府市都市計画税条例及び別府市国民健康保険税条例の一部改正を専決処分したものです。

以上で各議案の説明を終わります。

何とぞ慎重審議の上、よろしくお願い申し上げます。